

# 寺子屋から小学校へ

日本の近代化を進めるためには、国民の教育が大切だと考えた明治政府は、1872(明治5)年、学制を定めた。全国各地に小学校をつくり、6歳以上の男女すべてが、身分に関係なく教育を受けることを目指した。

クラスメートが同じ年齢なのは、  
今ではあたりまえだけど、  
最初はそうではなかったんだね。



## <同じ授業を受ける>

江戸時代の教育は、学びはじめる年齢や学ぶ年数にはっきりとした基準がなく、身分や職業のちがいで学ぶ場所や学ぶべきこともちがっていた。これに対し、明

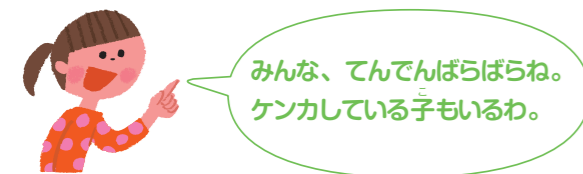
治政府が進めた教育は、身分に関係なく、同じ年齢の子どもたちがいっせいに小学校に入学し、同じ内容を学習するという、まったく新しいものだった。



**小学校の授業風景**  
子どもたちはみんな、大きなかげんを使って説明する先生のほうを向いて座っている。みんなていっせいに、同じことを学んだ。

### 江戸時代の教育

武士の子どもたちは藩校や私塾へ、町人や農民の子どもたちは寺子屋や私塾で学んだ。同じ部屋に年齢のちがう子どもたちが集まり、個別に指導を受けて学んでいた。



みんな、てんでんばらばらね。  
ケンカしている子もいるわ。

## 就学率と

### 小学校の年数

小学校の建設費や授業料はひとひと負担も多く、なかなか就学率は上がらなかった。しかし、1886(明治19)年に小学校令が制定され、学校制度の基礎が確立された。あとも改正がくりかえされると、明治の終わりに、ほとんどの子どもが小学校に通うようになった。

年	1	2	3	4	5	6	7	8	9							
1872 (明治5)年	第8級	第7級	第6級	第5級	第4級	第3級	第2級	第1級	第8級	第7級	第6級	第5級	第4級	第3級	第2級	第1級
1875 (明治8)年	6歳から9歳までが下等小学校、10歳から13歳までが上等小学校に入学し、半年ごとに1級ずつ進級して、第1級になった。															
1881 (明治14)年	初等科 中等科 高等科															
1886 (明治19)年	小学校教則綱領によって、小学校は初等科3年、中等科3年、高等科2年の3段階編成に改められた。															
1890 (明治23)年	1886年制定の小学校令が廃止され、新しく小学校令が制定された。															
1900 (明治33)年	尋常小学校が義務教育になり、授業料を取らないことが定められた。															
1907 (明治40)年	尋常小学校が6年になった。高等小学校は2年または3年になった。															

小学校に加えて、  
中学校の3年間も  
義務教育に  
なったのは、  
1947(昭和22)年  
からよ  
(→p.125)。



## 明治の教科書

江戸時代までの教科書は「往來物」(→p.57)という、寺子屋で使われていた手本書で、これが明治の教科書のもとになった。1904(明治37)年には文部省が編集、著作した国定の教科書が定められた。昔も今も授業内容に大きなちがいはなく、国語、算数、理科、歴史、音楽、手工(工作)、行儀作法などだった。



国語の教科書



算数の教科書



歴史の教科書

## ベストセラーになった

### 『学問のすすめ』

「天は人の上に人をつくらず、人の下に人をつくらず」ではじまる『学問のすすめ』初編は、福沢諭吉(→p.59)が1872(明治5)年に著した本。第17編までで刊行され、全部で340万部が売れるベストセラーとなった。福沢はこの本で、人は生まれながらにして平等で、人の値打ちは学問のあるなしで決まると説き、世のなかに強い影響を与えた。



『学問のすすめ』



## 中央区にあった学校

江戸時代の中頃から幕末にかけて、私塾や寺子屋が全国に広まっていた。そのため、学制が公布されてから短期間で全国に学校をつくることができた。幕末から1871(明治4)年までに開業され、学制が公布された直後も中央区にあった学校は150校ほどあった。



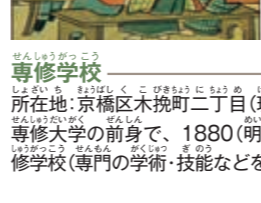
常盤小学校 (→p.154)



城東小学校 (→p.186)



築地小学校 (現・京橋築地小学校) (→p.210)



専修学校 (所在地:京橋区木挽町二丁目(現・銀座三丁目) 専修大学の前身で、1880(明治13)年に、経済と法律の専修学校(専門の学術・技能などを教える学校)として発足した。



久松小学校 (→p.172)



有馬小学校 (→p.162)



阪本小学校 (→p.200)

**蘭学塾**(→p.59)  
所在地:築地鉄砲洲(現・明石町)  
慶應義塾大学の前身で福沢諭吉が開いた。1868(明治元)年、芝新銭座(現・港区浜松町)に移転し、名前も慶應義塾と改められた。

**工手学校**  
所在地:京橋区南小田原町(現・築地七丁目)  
工學院大学の前身で、1887(明治20)年に、土木・機械・電工・建築・造船などの技術者を養成する学校として発足した。

●印は漢学や国学の学校、★印は洋学の学校を表している。  
\*地図上の6つの絵は、1877(明治10)年に『東京小学校教授録』にえがかれた44校のうち、現在も中央区内に存続している小学校。